

整理番号 2020M-034
補助事業名 2020年度 3次元データプラットフォームによる地下構造物維持管理の調査研究 補助事業
補助事業者名 一般財団法人エンジニアリング協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

増大する地下構造物の維持管理を、限られた経営資源（人・予算・もの・情報・時間）で実施するために、地下の3次元モデルを活用したデータプラットフォームを構築し、その活用によりの確かつ効率的な地下構造物の維持管理を実現するとともに生産性を向上させることを目的とする。

(2) 実施内容

① ガイドラインの見直しと改訂

2019年度に作成した「3次元データプラットフォーム活用ガイドライン」の見直しと改訂を行い、「地下構造物維持管理のための3次元データプラットフォーム構築ガイドライン（案）」を報告書とともに提示した。ガイドライン（案）の構成は、まず第1章で「ガイドラインの目的と位置付け」を述べ、第2章で「構築目的と手順」を示し、それぞれの作業項目を「第3章 システム設計・実装」、「第4章 資料の収集・整理及びデジタル化」、「第5章 3Dモデルの作成・統合及びデジタルデータとの紐づけ」の順で具体的に説明し、最後に「第6章 運用及び保守・点検」を示した。

② ガイドラインの見直しでも解決できない課題の抽出と解決策の検討

報告書では、ガイドライン（案）の改訂作業を通して、ガイドラインの見直しでも解決できない課題の抽出を行い、その課題に対する解決策などを取りまとめた。

③ 調査のまとめと今後の課題

構築した3次元データプラットフォームを、さらに活用しやすいものとするためには、情報共有の方法として、無線LANなどを利用して、スマートフォンやタブレットなどの手軽に持ち運べるデバイスで維持管理を行えるようにする必要がある。また、データの一元管理環境などを考慮したクラウドサービスの利用については、セキュリティなどの管理面で解決すべき問題が多いが、施設の運営組織や外部リソースの利用方法などを規定していくことにより、このようなサービスを導入していくことが望ましい。

2 予想される事業実施効果

増大する地下構造物の維持管理を、限られた経営資源（人・予算・もの・情報・時間）で実施するために、地下の3次元モデルを活用したデータプラットフォームを構築し、その活用によりの確かつ効率的な地下構造物の維持管理を実現するとともに生産性を向上させる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

2020年度 3次元データプラットフォームによる地下構造物維持管理の調査研究 報告書
(<https://www.ena.or.jp/gec>)

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人エンジニアリング協会

(イッパンザイダンハウジンエンジニアリングキョウカイ)

住 所： 〒105-0001

東京都港区虎ノ門三丁目18番19号 UD神谷町ビル10階

代 表 者： 理事長 永松 治夫 (ナガマツ ハルオ)

担当部署： 総務部 (ソウムブ)

担当者名： 課長 中村 裕己 (ナカムラ ヒロミ)

電話番号： 03-5405-7203

F A X： 03-5405-8201

E-mail： hiromi@ena.or.jp

U R L： <https://www.ena.or.jp/>